

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田 忠宏



新春メッセージ

MACの新たな年を迎えて

会長 池田忠宏

みなさん令和三年をお健やかに迎えのことと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返ると、当時は思いもよらなかった事態に世界中が見舞われております。「新型コロナウイルス」の感染拡大です。

国内では、二月の集団感染を機に拡大、「緊急事態宣言」が発出され、厳しい規制を受けました。

これらの影響は、我々のサークル活動を直撃し「三密回避」「自粛」等で活動を難しくしました。



また、利用している公共施設なども規制を受け、定期総会の開催も出来ず、創立以来初の書面議決を行いました。

部会活動は工夫をしながら一部実施しておりますが、先の見えない状況であり厳しくなっています。

ご承知の様に昨年は「平塚MAC二十周年」の記念すべき年であり、記念誌発行に総力を挙げて取り組んでまいりました。

コロナ感染予防の制約の中ではありませんが、完成に向け実行委員をはじめ、総力を結集した結果、総会に間に合い無事皆さんに配布出来ました。

予想以上の出来栄で自慢の「MAC二十周年記念誌」になりました。

さて、今年、オリンピックも予定されており、明るい話題もありますが、我々の世代では先の見えない

環境の中、新しい生活用式を徹底し、ウイルスには感染しないことが、最優先の課題だと思います。

コロナ禍が早く収束し仲間と一緒に楽しみたいですね。昨年二十周年のケジメが付きいよいよ次のステージに向けてスタートの年です。活性化の為、みんなが出来ることを一緒にやりましょう。

今年こそ平穏な一年を願って

飛翔編集員より

昨年の流行語大賞は、コロナ禍を色濃く映して「3密」でした。2019年はと言うと「ONETHEM!」、2018年は「そだねー」でした。これまでの明るい言葉と比べ昨年は大変な一年だったですね。

まだまだコロナは収束せず気が抜けませんが、この令和3年が良い年になることを祈りたいと思います。ところで、昨年12月の新聞記事に、首都圏の「本当に住みやすい街」の人気ラ

次第です。我々シニアには嬉しい情報ですね。

さて、昨年は平塚MACの活動も大きな影響を受けた訳ですが、創立20周年を迎え念願であった20周年記念誌を皆様のご協力により発行することができました。また、機関紙「飛翔」もコロナ禍の中、毎号発行することができ、会員の皆様への情報提供・共有化に役立っていただいております。

これからも編集員一同頑張ってくださいと思います。引き続き会員各位のご協力・ご声援を宜しくお願い致します。

当面のスケジュール

- 2月11日(木) パソコン勉強会
- 2月17日(水) 学習会
- 2月22日(月) パークゴルフの会
- 2月25日(木) パソコン勉強会
- 2月5日、12日、19日、26日(金) 囲碁を楽しむ会

次号の発行は

1月21日です